様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成３０年　６月２８日

愛 知 県 知 事　殿

提出者
住　所　愛知県刈谷市一ツ木町竹下５０番地の１
氏　名　愛知技研株式会社
取締役社長　森　一生
電話番号　0566-23-2731

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の２第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事　業　場　の　名　称	愛知技研株式会社
事 業 場 の 所 在 地	愛知県刈谷市一ツ木町竹下５０番地の１
計　　画　　期　　間	平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日

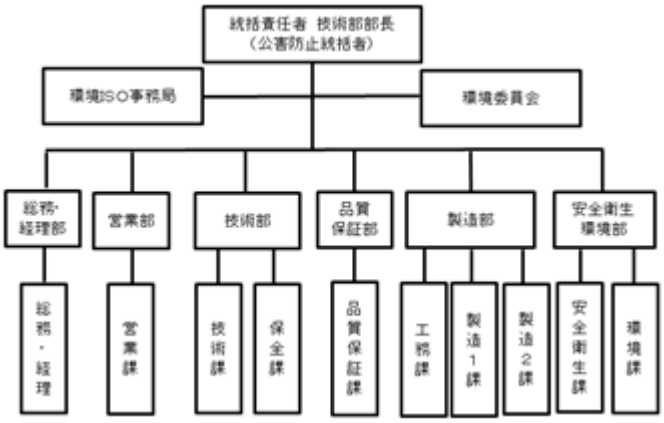
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事　業　の　種　類	２４　金属製品製造業
②事　業　の　規　模	製造出荷額　１８９億円
③従　業　員　数	２００名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（平成２９年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
排　　出　　量	506 t	312 t

（これまでに実施した取組）
・アルカリ・・・化学研磨前処理工程の導入によるアルカリ脱脂工程の長寿命化
・廃酸（硝酸）・・・使用可能な他工程へ流用し排出抑制
・全体・・・生産工程の加工不良品の発生低減活動で廃液発生の削減

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	腐食性廃酸
排　　出　　量	481 t	296 t

（今後実施する予定の取組）
・全体・・・新ラインの設置により、アルカリ液、硝酸の寿命延長化を目標とする。寿命延長により、廃液の低減を効果とする。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（平成２９年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

―</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

―</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（平成２９年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

―</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
特別管理産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

―</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（平成２９年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
―</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
―</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="2">【前年度（平成２９年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>506ｔ</td><td>312ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>506ｔ</td><td>312ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>310ｔ</td><td>210ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0ｔ</td><td>0ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・腐食性アルカリ・・・中和後、セメント焼成剤または水分含有燃料として再利用する業者へ委託</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>腐食性廃アルカリ</td><td>腐食性廃酸</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>481 t</td><td>296 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への
処 理 委 託 量</td><td>481 t</td><td>296 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処 理 委 託 量</td><td>295 t</td><td>200 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処 理 委 託 量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処 理 委 託 量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・腐食性アルカリ・・・中和後、セメント焼成剤または水分含有燃料として再利用する業者へ委託を継続</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

８　※欄は記入しないこと。